
釧路市社会教育推進計画

第4次（令和3年度）実施計画
評価結果

評価の目的と評価表の見方

1. 評価の目的

釧路市教育委員会では、下記事項を目的に「釧路市社会教育推進計画（以下計画という）」の評価を実施します。

1) 事業推進の現状認識と改善

釧路市の社会教育を計画的に推進するために、各種事業が計画に沿ったものかどうか、事業実施の手段や進め方が正しいかどうかなど、事業結果や推進方法等を点検・評価し、成果や現状課題を認識し、後年度の事業計画へ反映する。

※マネジメントサイクルの確立

Plan（計画）⇒ Do（実行）⇒ Check（評価）⇒ Action（改善）のPDCAサイクルにより、成果を重視して事業改善に結びつける。

2) 職員の意識改革

社会教育委員による計画の評価は、行政において「常に市民に見られている」という、職員一人一人の意識改革につながり、よい意味での緊張感を与え、成果を重視した目的をもった事業の展開が期待できる。

3) 市民への説明責任の遂行

計画の進捗状況や、事業の評価結果を市民に公表することで、行政の透明性を高め、市民の視点に立った事業の推進が図られるなど、市民ニーズを反映した市政運営が可能となる。

2. 評価表の見方

1) 行政が行う事業評価

計画の「具体的な施策」達成のための事業評価であり、ねらいに沿っての到達度評価について、社会教育（生涯学習）推進への貢献度（成果）を考慮し「4段階（A～D）」で評価する。

A：ねらいの9割以上が達成

B：ねらいの7割以上が達成

C：ねらいの5割以上が達成

D：ねらいの5割未満の達成

2) 社会教育委員が行う計画評価

計画の「具体的な施策」が達成されたかどうか、事業内容等を精査し、社会教育（生涯学習）推進への貢献度（成果）を考慮して総合的に判定する。主観的評価をもって「5段階（A～E）」で評価する。

A: 計画に沿った事業展開がなされ、成果が十分にあった。具体的な施策が達成された。

B: 計画に沿った事業展開がなされ、成果は上がっているが、具体的な施策の達成に至っていない。

C: 一定の成果はあったが、具体的な施策の達成のための事業改善が必要である。

D: 成果が十分に上がっておらず、具体的な施策達成のための事業改善や新たな事業の開発が必要である。

E: 成果がほとんどなく、廃止を視野に入れた事業の抜本的見直しが必要である。

3. 評価対象外事業

評価に馴染まない（できない）事業を評価対象事業から除きます。

- ・新型コロナウイルス感染症や天候等の止むを得ない理由で実施できなかったもの
- ・教育相談や補導活動等、評価できないもの
- ・教育委員会以外（市長部局等）が実施した事業

釧路市社会教育推進計画第4次（令和3年度）実施計画評価結果

全事業数		全施策数	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外
442		101	行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）					
			296	37	0	0	109	85	7	0	0	0	9
			67.0%	8.4%	0%	0%	24.7%	84.2%	6.9%	0%	0%	0%	8.9%
I	事業数	施策数	46	5	0	0	37	23	1	0	0	0	4
	88	28	52.3%	5.7%	0%	0%	42.0%	82.1%	3.6%	0%	0%	0%	14.3%
II	事業数	施策数	89	4	0	0	8	19	0	0	0	0	0
	101	19	88.1%	4.0%	0%	0%	7.9%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
III	事業数	施策数	82	1	0	0	11	21	0	0	0	0	2
	94	23	87.2%	1.1%	0%	0%	11.7%	91.3%	0%	0%	0%	0%	8.7%
IV	事業数	施策数	79	27	0	0	53	22	6	0	0	0	3
	159	31	49.7%	17.0%	0%	0%	33.3%	71.0%	19.4%	0%	0%	0%	9.7%

釧路市社会教育推進計画第3次（令和2年度）実施計画評価結果

全事業数		全施策数	A	B	C	D	評価外	A	B	C	D	E	評価外
443		101	行政評価（各事業の評価）					委員評価（各具体的な施策の評価）					
			252	59	0	0	132	87	4	0	0	0	10
			56.9%	13.3%	0%	0%	29.8%	86.1%	4.0%	0%	0%	0%	9.9%
I	事業数	施策数	36	9	0	0	43	22	0	0	0	0	6
	88	28	40.9%	10.2%	0%	0%	48.9%	78.6%	0%	0%	0%	0%	21.4%
II	事業数	施策数	84	8	0	0	11	19	0	0	0	0	0
	103	19	81.6%	7.8%	0%	0%	10.7%	100%	0%	0%	0%	0%	0.0%
III	事業数	施策数	67	15	0	0	14	21	1	0	0	0	1
	96	23	69.8%	15.6%	0%	0%	14.6%	91.3%	4.3%	0%	0%	0%	4.3%
IV	事業数	施策数	65	27	0	0	64	25	3	0	0	0	3
	156	31	41.7%	17.3%	0%	0%	41.0%	80.6%	9.7%	0%	0%	0%	9.7%

第4次（令和3年度）評価の分析

評価区分のうち「評価対象外」は、全基本方針に共通し、市長部局（健康推進課、市民協働推進課等の部署）事業及び青少年育成センターの電話相談や巡回指導等の評価できない事業、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止した事業や雨天等で実施できなかった事業としている。

◆基本方針Ⅰ（事業数 88、施策数 28）

行政が行った事業の評価（以下「行政評価」）は、A評価 46（52.3%）、B評価 5（5.7%）、C・D評価 0、評価対象外 37（42.0%）で、うち新型コロナウイルス感染症「以下（コロナ）」を原因に中止した事業は 12（昨年は 19）であり、昨年と比較し 7 事業が再開された形となっている。昨年より B 評価は減少し、A 評価が増加した結果となった。

社会教育委員が行った具体的施策の評価（以下「委員評価」）は、A評価 23（82.1%）、B評価 1（3.6%）、C～E評価 0、評価対象外 4（14.3%）であった。

基本方針Ⅰは、市長部局の事業や青少年育成センターの事業など、評価できない事業が多く、評価対象外が多くなっているが、コロナの感染防止対策を十分に施した上で可能な限り実施するという考えから、昨年より実施件数が増え、C・D評価もないことから、具体的施策は概ね達成されたものと評価された。

◆基本方針Ⅱ（事業数 101）、施策数 19）

行政評価は、A評価 89（88.1%）、B評価 4（4.0%）、C・D評価 0、評価対象外 8（7.9%）で、コロナを原因に中止した事業は 7（昨年は 11）であった。昨年より B 評価は減少し、A 評価が増加した結果となった。

委員評価は、A評価 19（100%）、B～E評価、評価対象外は 0 であった。

基本方針Ⅱは、各種講座やイベント等が主であるが、コロナ禍にあつて具体的施策は概ね達成されたものと評価された。

◆基本方針Ⅲ（事業数 94、施策数 23）

行政評価は、A評価 82（87.2%）、B評価 1（1.1%）、C・D評価 0、評価対象外は 11（11.7%）で、うちコロナを原因に実施しなかった事業は 5（昨年 13）であった。昨年より B 評価は減少し、A 評価が増加した結果となった。

委員評価は、A評価 21（91.3%）、B～E評価 0、評価対象外 2（8.7%）であった。

施策数 23 のうち 21 が A 評価であり、基本方針Ⅲの具体的施策は概ね達成されたものと評価された。

◆基本方針Ⅳ（事業数 159、施策数 31）

行政評価は、A評価 79(41.7%)、B評価 27(17.3%)、C・D評価 0、評価対象外は 53(33.3%)で、うちコロナを原因に実施しなかった事業は 42(昨年は 59)であった。

委員評価は、A評価 22(71.0%)、B評価 6(19.4%)、C～E評価 0、評価対象外 3(9.7%)であった。A評価が 3減、B評価が 3増であった。

実施した事業については、万全なコロナ対策を施しながら安全に実施されており、具体的施策は概ね達成されたものと評価された。

第3次（令和2年度）評価との比較

1. 行政評価（全体）

(1) 行政評価「A」

2年度→56.9% 3年度→67.0% 増となった

(2) 行政評価「B」

2年度→13.3% 3年度→8.4% 減となった

(3) 行政評価「C」

2年度→0% 3年度→0% 増減なし

(4) 行政評価「D」

2年度→0% 3年度→0% 増減なし

(5) 「評価対象外」

2年度→29.8% 3年度→24.7% 減となった

★事業数は、令和2年度 443 に対し、令和3年度は 442 であった。

昨年より「評価対象外」事業が減っており、徐々に事業が再開され出したことが分かる。

また、昨年に引き続き、いずれもC・D評価が0であり、実施できた事業に関しては、参加者の満足度や事業による効果が伺える結果となった。

2. 委員評価（全体）

(1) 委員評価「A」

2年度→86.1% 3年度→84.2% 減となった

(2) 委員評価「B」

2年度→4.0% 3年度→6.9% 増となった

(3) 委員評価「C」「D」「E」

2年度→0% 3年度→0% 増減なし

(4) 評価対象外について

2年度→9.9% 3年度→8.9% 減となった

★基本方針Ⅳについて、事業は実施したものの参加者が少なかった等の理由で行政評価 B となった事業があり、結果的に委員評価も昨年より B 評価が増えた結果となった。

まとめ

今年度も、コロナウイルス感染拡大防止により中止（延期）或いは規模を縮小した事業も多くあり、昨年に引き続き、難しい評価作業となった。

各部会の委員から寄せられた意見として、第Ⅰ部会では、「DV」はコロナ禍で深刻化する恐れがあり、さらに、「いじめ」とともに、新たな差別や格差が増加する中で、それらの学習機会や相談体制等の支援の充実が必要であること。家庭・地域教育では、さまざまな情報を SNS 等によりさらに広く発信すべきとの意見があった。

第Ⅱ部会では、万全なコロナ対策を講じ、内容を考えながら多くの事業を実施したことは評価できる。今後も見直しできるものは見直ししながら、さまざまなニーズに対応し、事業展開してほしいとの意見があった。

第Ⅲ部会でも、コロナ禍において、多くの事業を実施できたことは評価できる。今後は SNS での情報発信の強化を図るとともに、学校の文化活動の地域移行の動向を注視しながら取組を進めてほしい。また、アイヌ文化に関しては、高齢者からの聞き取り調査はできるだけ早く進めてほしいとの意見があった。

第Ⅳ部会では、身体接触が多いスポーツ分野は、コロナ対策を万全なものにしなければならないが、その中で、参加者の少ない事業に対しては、年齢やニーズに応じて時期や PR 方法を工夫し受講者数を増やすことや、小学生や幼児を対象とした事業に行政評価 B が目立つため、事業内容を見直すことも必要ではないかとの意見があった。

今年度も、コロナ感染の拡大がみられた場合には、事業の中止や延期の対応をしながら事業を展開してきたことから、事業実施による感染の発生は無く、安全・安心に事業展開でき、委員からも一定の評価を頂いたところである。また、時代の要請に基づくさまざまな事業の展開は、社会教育全体の推進に効果があったと考えており、次年度以降も社会や市民のニーズに応えながら多くの事業を行っていく必要がある。

基本方針Ⅰ 共に認め合う地域社会の構築

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント		
1 人権教育の推進	(1) 人権尊重体制の充実と推進	ア 関係機関との連携により、「いじめ」「DV」「児童虐待」等の人権を踏みにじる行為を絶対に許さない、隠さない、見のかさないと意識を醸成します	「少年の主張」釧路市大会	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での対応の工夫が必要。「DV」はコロナ禍で深刻化する恐れがあり、相談体制のさらなる構築が必要。「いじめ」については人間関係づくりやコミュニケーションが身につく学習が肝要。 ・次世代を担う青少年の声を聞く機会の少ない市民にとって、今後もさまざまな手段で発信してほしい。目には見えがたい「いじめ」「DV」「虐待」等の問題について緻密な対策がされており、今後に向けた改善点等を含め継続されることを願う。 ・「少年の主張」はコロナ禍であっても感染対策を講じながら開催できたことを評価したい。 ・DV・虐待防止等事業は、人間関係が希薄になっている現代で「いじめ」「DV」「虐待」の早期発見のためにも大事な事業であり継続を願う。 		
			いじめ問題総合対策事業	教育支援課	A				
			DV・虐待防止	教育支援課	A				
			DV・虐待防止	こども支援課	—				
			女性保護事業	こども支援課	—				
			児童虐待対策事業	こども支援課	—				
		イ 人権に関する学習会や講座の実施等により、性別、年齢、障がいの有無、出自、宗教等で差別のない、誰もが参画できる平等な社会づくりのための取組を行います	ノーマライゼーションの学習	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションに関する学習機会が障がい偏っている感があり、LGBTQ等の学習機会をタイムリーに設置する等理解を深める取組が必要。 ・自分では気づかない偏見や差別があり、重要なのは「知る」ことだと考える。人権に関する学習会や講座等継続実施することでノーマライゼーションの意識が強くなることが期待できる。 ・コロナ禍において、新たな差別や格差が増加し困難を抱えている現代、学習機会の充実と支援対策にも期待したい。 		
		ウ 人権侵害を受けた方への相談・支援体制を充実させます	【再掲】DV・虐待防止	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー、カウンセラーの充実をさらに図ること。ヤングケアラー問題が指摘される中、子どもや当事者が気づかぬまま受けるべき学び等の侵害が懸念される。 ・近年問題視されている「ヤングケアラー」についての支援体制の取組をお願いしたい。 		
	【再掲】DV・虐待防止		こども支援課	—					
	【再掲】女性保護事業		こども支援課	—					
	虐待防止センター事業		障がい福祉課	—					
	エ 「社会を明るくする運動」等、関係機関と連携し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深める取組を行います	社会を明るくする運動	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを利用した啓発活動の実践結果が不明。各ボランティア団体との連携を効果的に図る必要がある。 ・街頭啓発の中止により各関係機関・団体によるSNSを利用した新たな活動に取り組んだことを評価し、今後も周知継続の拡充に期待する。 			
	(2) ノーマライゼーションの理念の実現	ア 互いを認め合う学習活動の推進に努めます	【再掲】ノーマライゼーションの学習	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・(1) - (イ)と同様。体験型の講習は効果的である。 ・ノーマライゼーションの学習は実際場での活用が期待される。「障害者差別解消法」やヘルプマークカード等についても追加されることによりさらに理解が深まる。 ・社会に必要な学習機会の事業であり参加者の増加に期待する。 		
			イ 発達障がいについての理解と知識を深めるとともに、悩みを共有し、当事者や家族の相談体制の充実と様々な情報のわかりやすい発信に努めます	研究センター研修「特別支援教育Ⅰ」	教育支援課	A		A	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ等の動きもあるが、学校・保護者・当事者がしっかりと信頼関係を作り上げることが必要である。また、地域との連携・協働が必要と思われる。 ・発達障がいについては、さまざまな研究が進められ市民にも理解されつつある。特別支援教育については、関係機関や家族との連携、研修、教育相談等により支援の充実が見られており継続を期待する。障がいのある子どもの健康面の問題は大人に成長する上で重要と考えており、これらの情報が少ないと感じている。 ・障がいのある児童生徒の保護者は、子どもの将来に強い不安を抱いている。
				研究センター研修「特別支援教育Ⅱ」	教育支援課	A			
				特別支援教育の実施	教育支援課	A			
釧路教育研究センター教育相談		教育研究センター(教育支援課)		A					
ウ 男女平等参画の視点に立った家庭・地域教育の推進、学習機会や情報の提供等、男女平等の意識を高める取組を行います		マタニティ講座	健康推進課	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画の取組のさらなる推進が必要。幼・小・中・高と世代に応じた教育からのアプローチや企業の研修など、人として生きづらさのない環境づくりを進める施策が必要。 			
		釧路市男女平等参画審議会の開催	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—					
		女性団体の育成、指導	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—					
		「くしろ男女平等参画プラン」推進事業	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—					
		道外派遣事業	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—					
		男女平等参画に関する情報の提供	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—					
		男女平等参画センター管理運営事業	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—					
	くしろ男女いきいき参画表彰	市民協働推進課(男女平等参画主幹)	—						

基本方針Ⅰ 共に認め合う地域社会の構築

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 家庭教育の充実	(1) 親の学習機会の拡充	ア 釧路市PTA連合会等の関係組織と連携し、家庭や子育てのあり方について学ぶ機会となる研修会や講座等を開催します	家庭教育支援チームの運営・活用	教育支援課	A	A	・「ファーストステッププログラム」を評価する。今後に向けさらに検証を図り改善実施を望む。 ・コロナ禍での研修会や講演会等が中止となるのはやむを得ないが、子どもの成長に最も重要な家庭教育の大切さの発信の仕方に工夫を願う。
			家庭教育講座「ほわっと」	教育支援課	—		
			新入学児童保護者説明会「子育て講話」	教育支援課	—		
			家庭教育支援事業「教育講演会」	教育支援課	—		
	イ 親子がふれあえる機会の提供として、親子で参加できる体験型学習や子育ての楽しさが体験できる講座の充実に努めます	おそなえもちをつくろう	博物館	—	A	・体験学習をさらに充実されることを願う。特に地域の特性を活用した内容で郷土を愛し、誇りに繋げられる「釧路」を意識した継続的な取組が求められる。 ・コロナ対策のため中止や縮小した事業もあったが親子がふれあえる貴重な取組である。 ・親子のふれあい体験学習や世代間交流が可能になったことに評価したい。	
		市民学園講座「いきいきライフ講座」	生涯学習センター(生涯学習課)	A			
		おはなし会	図書館(生涯学習課)	A			
		親子教室	遊学館(生涯学習課)	A			
		夏休み親子土器作り教室	埋蔵文化財調査センター(博物館)	A			
		親子映画会	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	B			
		自然ふれあい事業	音別町青少年健全育成推進協議会(音別生涯学習課)	A			
	ウ 父親の子育てに参画する意識の向上をめざし、各種学習会や講座を開催します	【再掲】マタニティ講座	健康推進課	—	—	・男女平等参画センター等での他機関と連携した取組の充実を図ってほしい。 ・多くの対象市民に参加願いたい。	
	(2) 子育て支援の体制づくり	ア ホームページや「広報くしろ」等により、子育てサークルの活動や、講座・学習会等の情報をわかりやすく提供します	ホームページ等による各施設情報公開	生涯学習課	A	A	・ホームページのさらなる充実、魅力ある紙面づくりを図ることが期待される。 ・さまざまな情報提供がある中で「広報くしろ」の内容充実にも期待したい。
			家庭教育支援チームによる情報の提供	教育支援課	A		
			児童館幼児サークル支援事業	こども育成課	—		
		イ 地域の身近な環境の中で、子育てに関する相談の場の確保や、情報交換ができるネットワークづくりを進めます	【再掲】釧路教育研究センター教育相談	教育研究センター(教育支援課)	A	A	・子どもや保護者が相談しやすい「場づくり」。関係機関とのさらなる協力・連携を図ること。スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等の人材の確保・育成が肝要。 ・「広報くしろ」やホームページでの子育て支援の情報は分かりやすく、さらなる充実と継続が必要。また、行動につなげることが難しい対象者には、直接家庭に働きかけることは大きな意味がある。
教育相談体制の充実			教育支援課	A			
地域子育て支援拠点事業			こども育成課	—			
利用者支援事業			こども育成課	—			

基本方針Ⅰ 共に認め合う地域社会の構築

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
3 地域教育の活性化	(1) 地域ネットワークの強化	ア 地域コミュニティの機能向上のため、コミュニティ・スクールの導入の際には、これまで以上に保護者や地域住民が学校運営に積極的に関わり、連携を図れるように努めます。	放課後子どもチャレンジ教室	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの当該学校の教職員・児童生徒・保護者の理解を深めるとともに地域へのアプローチが大切。地域の実情、要望等をしっかり把握して協力体制を構築すること。SNSの充実、教育支援ボランティアの拡充が課題。 ・子どもの居場所づくりとしての環境は大切であり、さらなる地域との連携を進めてもらいたい。 	
			コミュニティ・スクール活用推進事業	教育支援課	A			
			地域学校協働本部事業	教育支援課	A			
		イ 町内会や子ども会等、関係団体相互の連携を深め、地域の活性化に努めます	地域うおい学習推進委員会運営助成	教育支援課	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・企業の撤退で地域・町内会等の活動が難しい中、地域の企業・団体・施設とのさらなる連携を図ることが必要。 ・町内会組織が薄れていく中で、学校と地域住民とのより良いつながりに期待したい。
			釧路市子ども会育成連合会単位子ども会への支援	教育支援課	A			
			青少年健全育成団体への支援	教育支援課	A			
			児童館母親クラブ事業	こども育成課	-			
		(2) 地域活動のリーダー養成と活用	ア 地域活動の活性化を図るため、リーダーやボランティアを発掘・養成するとともに、活躍の場の確保と機会の充実に努めます	【再掲】地域学校協働本部事業	教育支援課	A		A
	学校・教育支援ボランティア			教育支援課	A			
	イ 「学校支援ボランティア」「生涯学習人材バンク」等により、地域のリーダーやボランティアの活用を図ります		生涯学習人材バンク登録制度	生涯学習課	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの有効活用を図ること。コロナ禍におけるオンライン活用の充実、市民への情報発信をさらに図ってほしい。 ・生涯学習人材バンク登録制度については、どのような人に登録してもらいたいのか具体的に示すことで登録者が増えるのではないかな。 ・地域へのさらなる周知や募集を行い、学校支援ボランティア、教育支援ボランティアの活動に関心を持ってもらう必要がある。 	
	(3) 地域が子どもを育てる取組	ア あいさつ運動や声かけ運動等、子どもが安全・安心に暮らせるよう、地域全体で子どもを見守る体制を整えます	こども110番の家	青少年育成センター	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かした取組の工夫をさらに進めてほしい。お互い安心して声を掛け合えるまちづくりを進めてほしい。 ・ホームページの工夫も必要ではないかな。 ・子どもの見守りへの意識を高めるため、今後も周知・啓発活動の継続をすべき。
			すずらん運動	阿寒生涯学習課	A			
			地域イベント巡回活動	音別町青少年健全育成推進協議会 (音別生涯学習課)	-			
			広報誌による啓発活動	音別町青少年健全育成推進協議会 (音別生涯学習課)	A			
釧路市地域子育て力強化事業			こども支援課	-				
イ 企業や各種施設等と連携を図り、釧路市全体で子どもを育て見守る体制を整えます		こども110番の店	青少年育成センター	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「こども110番の店」も定着してきておいて評価するが、具体施策としての各企業・各種施設等との連携実践をさらに進めて行くことが肝要。大きくわかりやすいステッカーの掲示等の工夫が必要。 		
		どさんこ・子育て特典制度	こども育成課	-				
		地域児童健全育成事業	こども育成課	-				

基本方針Ⅰ 共に認め合う地域社会の構築

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
4 青少年の健全育成	(1) 体験学習機会の提供	多様な自然体験、生活体験、社会体験等の体験学習機会の充実に努め、社会性、公共心を育む活動を行います	赤ちゃんふれあい体験事業	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習の充実に努め、子どもたちがしっかりと学習を振りかえる時間も確保して、学習効果を高めていく必要がある。小学校からの体系的なインターンシップの工夫等キャリア教育の充実を図ることが必要。 ・赤ちゃんふれあい体験事業は大変貴重な機会であり、核家族化、高齢化の中、「高齢者ふれあい体験事業」の取組を加えることで、さらに学びを深めることができるのではないか。 ・職業体験はコロナの影響で中止となったが、さまざまな体験学習は「社会のしくみ」「SDGs」への意識の向上にもつながる。 ・コロナ禍での体験学習の実施が困難な中でも貴重な体験を通じ心身の発達の上にもつながる。 	
			くしろ子どもインターンシップ事業「チャイルド1DAY・仕事一日体験」	教育支援課	—			
			職業体験事業「くしろキッズタウン」	教育支援課	—			
			青少年体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース道東」への派遣	釧路教育局(教育支援課)	B			
			市民学園講座「まなぼとわくわく体験隊」	生涯学習センター(生涯学習課)	A			
			市民学園講座「子どもチャレンジ」	生涯学習センター(生涯学習課)	A			
			図書館行事「一日司書体験」	図書館(生涯学習課)	A			
			宿泊体験学習	阿寒生涯学習課	—			
			チャレンジスクール	阿寒生涯学習課	—			
			図書館のおしごと体験	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	A			
	イ	不登校等の問題を抱える子どもたちが、自然体験や集団生活等を通じ、人間関係や社会的スキルを学べる場を提供します	不登校学級宿泊研修支援	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する子どもたちが安全・安心に取り組める研修の充実にさらに図ってほしい。子どもたちの声を聞き、要望のある事業の一部実施の工夫等キャリア教育の充実を図ることが必要。 ・意義のある事業ではあるが、参加人数が少ないのが残念である。 	
			不登校児童生徒宿泊研修	教育支援課	—			
	(2) 多様な活動に参加する子どもの育成	ア	釧路の歴史や文化、自然にふれる研修会や学習会等、子どもたちが郷土の誇りを醸成する活動を行います	【再掲】市民学園講座「まなぼとわくわく体験隊」	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「より釧路らしさ」や釧路を意識した体験学習の工夫が望まれる。アイヌに関する体験学習を取り入れてほしい。
				【再掲】市民学園講座「子どもチャレンジ」	生涯学習センター(生涯学習課)	A		
		イ	他都市の子どもたちとの文化・スポーツ交流等、互いの郷土の理解を深めるための活動機会を提供します	青少年交流事業「出水市ツル交流」	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大変だがリモート等の活用で工夫することは今後も必要。姉妹都市ほか国内はもちろん海外の都市、地域との交流を図っていただきたい。(台湾・カナダ・オーストラリア等) ・自分たちが生活する地域の特徴(魅力)をより深く知ることができ、他都市の子どもたちの文化・スポーツ交流は他地域の関心にもつながり視野を広げることができる。
ブロンズ像友好釧路市八千代市青少年スポーツ交歓大会				各施設指定管理者(スポーツ課)	—			
ウ		釧路の子どもたちによるフォーラムや学習会等、全学的な取組を進めます	青少年の心を育む市民フォーラム「釧路の子ども大集合」	教育支援課	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣の定着に向けた内容は評価できる。今後も事業の内容充実に努めてほしい。 ・中高生と連合町内会、市P連の世代間交流は評価できる。 	

基本方針Ⅰ 共に認め合う地域社会の構築

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
4 青少年の健全育成	(3) 青少年リーダーの育成	ア 将来的な地域活動のリーダーを育成するため、青少年による学習会や研修会等を実施します	【再掲】チャレンジスクール	阿寒生涯学習課	-	—	・コロナ禍でも実施できる事業の工夫が求められる。
		イ 青少年のボランティア活動や社会参加活動を促進するため、青少年が活躍できる場の確保に努めます	【再掲】青少年体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース道東」への派遣	釧路教育局 (教育支援課)	-	—	・中高の連携を日常から図る必要があり、釧路・阿寒地区内の高校、音別地区は白糖の高校等と連携しやすい事業やボランティア活動を日ごろから実践し、積み上げていくことが大切。
	(4) 非行等の未然防止	ア 関係機関・団体と連携を深めながら、子どもたちへの的確な助言・指導等を行うなど、非行等の未然防止の取組を進めます	補導活動の推進	青少年育成センター	-	A	・関係団体とのさらなる連携充実が必要。 ・心の教育推進会議の取組は困難なことも多いと思うが非行防止、不登校の改善が期待できる。
			有害環境浄化活動の推進	青少年育成センター	-		
心の教育推進会議	教育支援課		A				
イ ホームページ等の様々な媒体を通じ、非行等を未然に防ぐための情報提供と啓発に努めます	非行や不審者等の情報提供による啓発の推進	青少年育成センター	B	B	・ネット系に関わる非行防止活動の充実が必要。 ・周知、啓発活動の推進に期待する。		
ウ 「釧路市ファミリーサポート事業」等、悩みや問題を抱える子どもや親への相談・指導体制の充実を図ります	釧路市ファミリーサポート事業	青少年育成センター	A	A	・家庭そのものを支えられる取組の充実が求められる。シングルマザー等悩みを抱える親子をサポートできる体制づくりが必要。コロナ禍ではあるが「子ども食堂」「寺子屋」など、子どもの居場所づくりを地域・行政が支え、子どもが安心して生活でき、学びを体験できる環境づくりを進めてほしい。 ・問題や悩みがあっても「声小さい」「声が出さない」「出せない」対象者をどのように支援していくか難しい課題があるのだろうか。不登校・いじめ等は人とのつながりが難しい場合が多い。電話での相談はハードルが高く、メール等での相談体制の充実が必要。緊急時の体制確保も望まれる。 ・問題を抱える児童生徒に対し迅速に関係機関・団体や専門機関につながる支援体制を評価する。非行防止の取組や巡回活動の実施、専門家の参加による「心の教育」推進会議の実施等評価し、さらなる体制の充実を期待する。		
【再掲】教育相談体制の充実	教育支援課	A					

基本方針Ⅱ 主体的な学びの推進

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
1 多様な学びの場の提供	(1) ニーズにこたえる学習内容の充実	ア 多くの市民が、興味・関心を持って参加できる内容の講演会やイベントを開催します	博物館講演会	博物館	A	A	・万全なコロナ対策を講じ、中止及び延期判断を明確にした上で各事業を開催している。特に子どもたちが多くの体験イベントに参加し興味喚起できたことは大変評価できる。 ・コロナ禍であるにもかかわらず実施されたことは良かった。 ・コロナ禍でも安全安心を最優先にしながら、考え取り組んだ一年であった。(以下同様)
			特別展・企画展の開催	博物館	A		
			巡回展「移動博物館」	博物館	A		
			生涯学習フェスティバル	生涯学習センター (生涯学習課)	A		
			季節行事	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			宇宙の日イベント	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			サイエンス屋台村	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			サイエンスショー	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			太陽観測会	こども遊学館(生涯学習課)	—		
			天体観測会	こども遊学館(生涯学習課)	A		
			企画展示事業	こども遊学館(生涯学習課)	A		
		映像アーカイブ上映会	博物館	—			
		イ 釧路を訪れる外国人との交流を図るため、外国語やその国の文化等を知る講座や教室を開催します	市民学園講座「メッセージtoくしろ」	生涯学習センター (生涯学習課)	A	A	・予てよりインバウンドの課題であった市民の訪訓外国人(外国)への理解度の向上に寄与するものであり、ウィズコロナ・アフターコロナにおける本市の観光事業を見据え評価できる。今後もそのような目的を前面に出しながら取組を拡充し相乗効果を発揮してほしい。
		ウ 子どもたちが自ら学び考える力を育むため、図書館施設と学校図書館が連携した学校ブックフェスティバル事業を実施するなど、豊かな読書活動と多様な学習活動を推進します	図書館資料の充実	図書館(生涯学習課)	A	A	・子どもたちの学習意欲・学力向上に必要な読書習慣の定着に向け、精力的に取り組まれていることが評価できる。電子書籍のコンテンツ拡大やSNSを活用した利用促進は確実に効果が見込まれると考える。SNS媒体ごとの年代や利用者数、表示内容等の検証等で効果の高い取組が期待できる。 ・貸出冊数が増えたことは評価できる。
		図書館バスの運行	図書館(生涯学習課)	A			
		子ども読書活動の推進	図書館(生涯学習課)	A			
		図書館資料の提供	図書館(生涯学習課)	A			
		移動図書館「よむよむ」の運行	阿寒生涯学習課	A			
		ふれあい図書館資料の貸出	喜別町ふれあい図書館 (喜別生涯学習課)	A			
		エ 夏休みや冬休み等における学習活動として、多くの子どもたちが興味・関心を持って参加できる講座の開発に努めます	まが玉を作ろう	埋蔵文化財調査センター (博物館)	A	A	・万全なコロナ対策を講じ、中止及び延期判断を明確にした上で各事業を開催している。特に長期休業中に多くの子どもが数多くの体験イベントに参加し、学習・興味喚起できたことは大変評価できる。
		ゴールデンウィークイベント	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		春休み企画	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		夏休み企画	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		冬休み企画	こども遊学館(生涯学習課)	—			
		各種イベントの実施	美術館	A			
		子ども学習支援	博物館	A			
		オ 市民ニーズに対応するため、社会教育施設が持つ様々な機能を活かした学習の機会を提供します	「総合的な学習の時間」プログラム	動物園	A	A	・コロナ禍においても開催に向けた工夫が各所にみられ、的確な対策と判断により開催できている。学校・団体から実施依頼がある中、期待に応え事業毎の成果を出している点が評価できる。 ・子どもたちの育ちのために必要な取組が多種あり評価する。
		図書館行事「見学ツアー」	図書館(生涯学習課)	A			
		釧路市中央図書館「調べ学習コンクール」	図書館(生涯学習課)	A			
		天体観測学習	こども遊学館(生涯学習課)	—			
		サイエンスルーム事業	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		校外学習支援	こども遊学館(生涯学習課)	A			
		出張天体観望会	こども遊学館(生涯学習課)	—			
		公民館分館事業	阿寒生涯学習課	A			
		体験学習センター(こころみ)各種主催事業	喜別町体験学習センター (喜別生涯学習課)	A			
		学校教育への支援	埋蔵文化財調査センター 博物館	A			
施設間の連携事業の実施	各文化施設	A					

基本方針Ⅱ 主体的な学びの推進

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント		
2 学びの場の環境の充実	(1) 要望にこたえるタイムリーな情報の提供	ホームページや「生涯学習ハンドブック」により、各施設の講座やイベント、目的にあった学習内容等、最新の情報をわかりやすく提供します	「生涯学習まちづくり出前講座」	生涯学習課	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや各種SNSの利用により情報サービスの多角化を図っていることを評価する。シニア世代で最も利用と理解があるSNSはLINEだと個人的に推察し、教育委員会でも公式LINEを作成し、シニア世代に登録してもらうことで、ピンポイントでハンドブックを閲覧してもらえる可能性がある。 ・さまざまなSNSの活発な活用を願う。 		
			「広報くしろ」生涯学習インフォメーションによる情報提供	生涯学習課	A				
			「生涯学習ハンドブック」の作成・公開	生涯学習課	B				
			こども遊学館の情報発信	こども遊学館(生涯学習課)	A				
			施設利用促進のための情報提供	文化振興財団(生涯学習課)	A				
		生涯学習アドバイザーの配置により、生涯学習に関する相談が気軽にできる体制を整えます	生涯学習相談と情報提供	生涯学習センター(生涯学習課)	A	A		・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。	
		講座終了後のアンケート実施等、新たな市民ニーズの把握に努めるとともに、多様な媒体による最新の生涯学習情報を提供します	【再掲】「広報くしろ」生涯学習インフォメーションによる情報提供	生涯学習課	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代で最も利用と理解があるSNSはLINEだと推察する。見せたい媒体のURL、または答えてほしいアンケート（GoogleフォームURL）をLINEでの発信により周知数及び回答数の増加が見込まれると考える。 	
			【再掲】「生涯学習ハンドブック」の作成・公開	生涯学習課	B				
			市民ニーズの把握	生涯学習センター(生涯学習課)	A				
			【再掲】施設利用促進のための情報提供	文化振興財団(生涯学習課)	A				
	(2) 施設・環境の整備	いつでも、どこでも、だれでも、安心・安全に学習できる社会教育施設をめざし、計画的に整備を進めます	図書館施設の補修・更新	図書館(生涯学習課)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正及び施設維持に関して、的確かつ計画的に実施されていると評価する。近年コロナ禍により業者のみならず個人対応のイベントのライブ動画配信等が増えてきている。その際必要なのが有線LANや音声のライン入力の手軽さである。 ・他の自治体の施設と比べて文化会館の老朽化は進んでいる。 		
			文化会館施設整備	市民文化会館(生涯学習課)	B				
			生涯学習センター施設整備	生涯学習センター(生涯学習課)	A				
			阿寒町公民館施設整備	阿寒生涯学習課	A				
			社会教育施設の整備(音別地区)	音別生涯学習課	A				
			各施設のAED設置と心肺蘇生法等の応急手当講習会の受講	各文化施設	A				
		地域における情報拠点施設として、釧路市中央図書館及び図書館関係施設の機能強化をめざし、資料やレファレンス※の充実を図り、多種多様な学習ニーズの対応に努めます	図書館ネットワークの推進	図書館(生涯学習課)	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のリクエストに対応し新刊本の購入を進めるなど、市民のニーズを積極的に捉え対応されていることを評価する。 ・今後も可能な限りオンライン対応をすべくである。
			図書館の情報提供機能の充実	図書館(生涯学習課)	A				
阿寒町公民館図書資料の充実			阿寒生涯学習課	A					
ふれあい図書館資料の充実			音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	A					

基本方針Ⅱ 主体的な学びの推進

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
3 成果を活かす学びの場の推進	(1) 人材発掘とその育成	ア 専門的指導者等、ボランティアを育成するための講座を開催します	図書館ボランティア育成	図書館 (生涯学習課)	A	A	・是非とも読書活動支援ボランティアの育成及び活動支援をお願いしたい。市P連においても子どもの読書習慣の定着を見据え、連携・取組に努めたい。 ・大人だけではなく、学生ボランティアの育成等若者を巻き込む施策を検討していただきたい。	
			ボランティア活動の学習	生涯学習センター (生涯学習課)	A			
			こども遊学館ボランティア研修	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
		イ 釧路市こども遊学館等の社会教育施設と教育機関が連携を図り、学習活動支援のための担い手を育てる取組を進めます	こども関連施設・教育機関支援事業	こども遊学館 (生涯学習課)	-	A		・インターンシップ等を通して、こども遊学館の利用の多角化を実現していることを評価する。今後はさまざまな機関との連携により、さらなる遊学館利用の高まりが期待できる。
			高等教育機関支援	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
			地域施設間連携事業	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
	(2) 学びの成果を活かせる場の提供	ア 自身の趣味・特技、学習成果を発表できる場や、学習者同士が交流できる場の確保に努めます	特別展・私の博物館	博物館	A	A	・近年はコロナ禍において交流できずコミュニケーションの停滞が問題視されていた。本年は交流の重要性をあらためて認識したうえで感染防止対策を万全に交流できたことは大変大きな成果と評価する。	
			こども遊学館ボランティア交流	こども遊学館 (生涯学習課)	A			
			博物館友の会との連携	博物館	A			
			【再掲】生涯学習フェスティバル	生涯学習センター (生涯学習課)	A			
イ 講座や学習会等で身につけた学習成果を、ボランティア活動や地域貢献活動として実践できる場を提供します	【再掲】地域学校協働本部事業	教育支援課	A	A	・PTAとして保護者として大変ありがたい活動を頂いており感謝している。CS導入前の学校への対応等についてはPTAでも検討したい。			
	こども遊学館読み聞かせボランティア「おはなし会」	こども遊学館 (生涯学習課)	A					
	ふれあい図書館「おはなし会」	音別町ふれあい図書館 (音別生涯学習課)	A					

基本方針Ⅲ 自然との共生と文化芸術の振興

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
1 豊かな自然を生かした活動の推進	(1) 豊かな自然環境の保護と啓発の取組	釧路が持つ豊かな自然や動植物の現状・課題等の情報を内外へ広く発信し、自然環境の保護意識を醸成します	出前講座「動物園のお仕事」、「タフウ学び隊」	動物園	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。
		市民が自然に関してより理解を深めるため、ホームページや「広報くしろ」等により、自然の活用方法やその効果等をわかりやすく紹介します	動物園情報の発信	動物園	A	A	・コロナ禍の影響下で積極的な情報発信が見られた。特に今後の発展について、オンラインならではのコンテンツ発信の可能性についての検討は注目された。 ・SNSによる発信強化に期待する ・特に若い世代へはアクセスしやすいインターネットを充実させることが必要。
			博物館情報の発信	博物館	A		
		国内外の関係機関との学術交流等を通して、希少動植物の種の保存や保護増殖に取り組みます	タンチョウ生息域外保全事業	動物園	A	A	・鳥インフルエンザの対応期間が増大する中で、関係機関との連携が重要となる。
			野生タンチョウにおける感染症に関する調査事業	動物園	A		
			シマフクロウ生息域外保全事業	動物園	-		
			希少哺乳類の増殖事業	動物園	-		
	マリモの保護・調査研究事業		阿寒生涯学習課	A			
	キタサンショウウオ保全に向けた庁内情報共有の実施	生涯学習課	A				
	(2) 多様な自然体験・学習機会の充実	身近な自然とのふれあいを通した、様々な学習機会と内容の充実を図ります	自然観察会	博物館	A	A	・冬の観察会は準備等苦労が多く、市民の満足度が高く評価できる。特に鳥類の野外観察は冬の方が優れており、スノーシュー等の装備の充実も含めて期待する。
			自然観察会	こども遊学館(生涯学習課)	-		
			化石発掘体験学習	阿寒生涯学習課	-		
			春探湖畔冬のいきもの観察会	博物館	A		
		自然や生きものと直接ふれあい、その関わり方や「いのち」の大切さを知るなど、他を思いやる「心の教育」を推進します	サマースクール	動物園	A	A	・バックヤード見学は動物と人とのつながりを体験でき、感染症対策等の難しい面もあるが期待したい。 ・コロナ対策をとりながら実施できたことは評価できる。
			こども動物園	動物園	A		
			【再掲】「総合的な学習の時間」プログラム	動物園	A		
		釧路の特色ある風土や気候を生かした自然体験学習を提供します	【再掲】自然観察会	こども遊学館(生涯学習課)	-	-	
自然の美しさ、厳しさ、素晴らしさを体験できる学習機会を提供します		【再掲】チャレンジスクール	阿寒生涯学習課	-	-		
自然体験の専門的指導者や施設ガイド等のボランティアの確保に努めます		動物園ボランティア養成事業	動物園	A	A	・コロナ禍の活動であり難しい面が多々あったと推測される。	
	天文指導員養成講座	こども遊学館(生涯学習課)	A				

基本方針Ⅲ 自然との共生と文化芸術の振興

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 文化・芸術活動の推進	(1) 芸術鑑賞機会の充実	ア ホームページや「広報くしろ」等により、芸術鑑賞に関する情報を広く発信します	所蔵作品等巡回展事業	美術館(生涯学習課)	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。 ・コロナ禍の影響を受けながらも対策を講じて実施できたことは評価できる。 ・今後も様々な芸術鑑賞の場の提供を期待する。
			観光客や長期滞在者へのPR	生涯学習課	A		
外国語による案内表示			生涯学習施設	A			
イ 市民の文化芸術の向上を図るため、広範な芸術を鑑賞できる機会の提供や支援を行います		特別展	美術館(生涯学習課)	A	A		
		常設展(グラ・コレ、プチ・コレ)	美術館(生涯学習課)	A			
		文化振興助成	生涯学習課	A			
		道立釧路芸術館開催特別展の助成	生涯学習課	A			
		芸術鑑賞事業	市民文化会館(生涯学習課)	A			
		【再掲】所蔵作品等巡回展事業	美術館(生涯学習課)	A			
		道展・釧路移動展	美術館(生涯学習課)	A			
(2) 多様な文化活動の推進	ア 市民の自主的な活動を支援し、成果発表や参加できる場の拡充に努めます	友好都市出水市文化交流事業	生涯学習課	A	A	・今後も様々な芸術鑑賞の場の提供を期待する。	
		展覧会事業	文化振興財団(生涯学習課)	A			
		地域文化振興事業「発表機会提供事業」	市民文化会館(生涯学習課)	A			
		阿寒町総合芸術祭	阿寒生涯学習課	A			
		釧路市文化団体連絡協議会阿寒支部への支援	阿寒生涯学習課	A			
		釧路市文化団体連絡協議会音別支部への支援	音別生涯学習課	A			
		音別町総合文化祭	実行委員会(音別生涯学習課)	A			
		音別町郷土芸能保存会活動への支援	音別生涯学習課	A			
		釧路市障がい者芸術作品展	障がい福祉課	—			
		文化芸術団体の紹介	生涯学習課	A			
		文化交流の推進	生涯学習課	A			
		釧路市文化団体連絡協議会への支援	生涯学習課	A			
	イ 地域や文化団体、学校が連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会の充実や活動へサポートを促進します	各種講習会等開催助成	生涯学習課	A	A		・クラブ活動を地域に移行する方針が文科省から出されているが、その動向に注視しながら施策を打つ必要がある。 ・子どもたちにとって大切な機会が多かったと思っており評価する。
		アーツスクール事業	美術館(生涯学習課)	A			
		全国・全道大会派遣・開催助成	生涯学習課	A			
		地域文化振興事業「青少年の芸術活動支援」	市民文化会館(生涯学習課)	A			
		芸術劇場の開催(阿寒地区)	阿寒生涯学習課	A			
芸術劇場の開催(音別地区)		音別生涯学習課	A				
学校での文化芸術活動の支援	生涯学習課	A					

基本方針Ⅲ 自然との共生と文化芸術の振興

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 文化・芸術活動の推進	(3) 地域・郷土文化の発展	ア 地域芸能等、郷土の文化・芸術の保存・伝承の取組を行います	郷土史のマイクロフィルム化	図書館(生涯学習課)	B	A	・地域郷土文化の発展のため様々な事業を展開しているが、「保存」「伝承」に困難な課題を抱えている。今後の事業のあり方やねらいについて十分な検討を加えなくてはならないのではないか。
			所蔵資料展	阿寒生涯学習課	A		
			郷土資料所蔵室事業	阿寒生涯学習課	A		
			郷土芸能の保存・伝承	阿寒生涯学習課	A		
			阿寒郷土資料所蔵室移動展示	阿寒生涯学習課	A		
			【再掲】音別町郷土芸能保存会活動への支援	音別生涯学習課	A		
			郷土芸能「踏まつり音頭」の伝承活動	音別生涯学習課	A		
			郷土資料の展示	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	A		
			釧路新書・叢書の発刊	生涯学習課	A		
			学校給食	学校給食課	A		
			【再掲】学校での文化芸術活動の支援	生涯学習課	A		
			文化芸術による地域振興のための情報収集	生涯学習課	A		
	イ 地元芸術家や郷土作家、文化芸術団体等の創作活動の支援や顕彰を行います	釧路市文化賞・文化奨励賞	生涯学習課	A	A	・市民の文化芸術活動は、もともと人口減・高齢化等の諸課題を抱えており、ここ数年のコロナ禍の影響により、活動の停滞が著しい。これらの課題に向けて行政、文化団体等が協働しながら施策を打つ必要がある。 ・次世代を育てる大きな課題があるなか、地域の方々や専門家等力を合わせ進めて行ければ良いのではないか。	
		郷土作家展	美術館(生涯学習課)	A			
		郷土芸能保存活動への支援	生涯学習課	A			
ウ 郷土文学の発展のため、郷土文学作家の作品や資料の収集・保存・公開を行います	郷土作家資料の整備	生涯学習課	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。		
	釧路地域の文学紹介	生涯学習課	A				
	地域資料の公開	生涯学習課	A				

基本方針Ⅲ 自然との共生と文化芸術の振興

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント	
3 文化財の保護と アイヌ文化の保存・継承	(1) 文化財に関する学習機会や情報の提供	ア 地域や学校において、文化財について興味・関心を持ち、学習できる機会の充実を図ります	【再掲】巡回展「移動博物館」	博物館	A	A	・今後も様々な芸術鑑賞の場の提供を期待する。	
			まちなか企画展	埋蔵文化財調査センター(博物館)	A			
	(2) 文化財の保護と調査・研究	イ 市民が日常生活を通じて、文化財に親しみ、理解を深める活動の支援と情報の提供に努めます	「文化財マップ」の活用	生涯学習課	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。	
				動物園	—			A
	NPO法人「タンチョウ保護グループ」との共同調査・啓発活動	動物園	A					
	文化財となっている希少動植物の増殖や、野生復帰を進めるための調査・研究を行い、その成果の公表および情報の発信に努めます	タンチョウの保護・調査研究事業	動物園	—				
	傷病タンチョウの保護・収容事業	動物園	—					
	希少鳥類の保護・増殖事業	動物園	—					
	キタサンショウウオの保護・調査研究事業	博物館	A					
	春採湖のヒブナの保護・調査研究事業	博物館	A					
	(2) 文化財の保護と調査・研究	イ 市民と協働して行う文化財調査・研究や体験学習を通じ、遺跡・史跡の整備・保存や活用について、意識の高揚を図ります	【再掲】マリモの保護・調査研究事業	阿寒生涯学習課	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。	
				【再掲】夏休み親子土器作り教室	埋蔵文化財調査センター(博物館)			A
				国史跡等探訪会	埋蔵文化財調査センター(博物館)			A
				【再掲】北斗遺跡復元住居補修等環境整備	埋蔵文化財調査センター(博物館)			A
				国史跡釧路川流域チャシ跡群(ハルトルチャランケチャシ跡)整備	埋蔵文化財調査センター(博物館)			A
北斗竪穴まつり				埋蔵文化財調査センター(博物館)	—			
(2) 文化財の保護と調査・研究	ウ 釧路市の貴重な文化財を自然災害等から守るため、関係機関との連携によりその保全に努めます	【再掲】竪穴住居屋根ふき体験	埋蔵文化財調査センター(博物館)	A	A	・貴重な文化財保護施策等が現状で良いのかどうか。		
			指定文化財の審議	生涯学習課			A	
			【再掲】北斗遺跡復元住居補修等環境整備	埋蔵文化財調査センター(博物館)			A	
			【再掲】国史跡釧路川流域チャシ跡群(ハルトルチャランケチャシ跡)整備	埋蔵文化財調査センター(博物館)			A	
(3) アイヌ文化の保存と継承	ア 「アイヌ古式舞踊」等、アイヌ民族の伝統芸能の保存・継承のため、伝承活動を支援します	文化財登録に向けての取り組み	埋蔵文化財調査センター(博物館)	A	A	・アイヌ民族の高齢者からの聞き取り調査はできるだけ早く推し進めてほしい。 ・記録をしっかりと残すことは非常に重要である。歌や舞踊等も変化していくものであるが、今あるものをデジタル化する等して残し、次世代に伝えていけると良い。		
			春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会助成	生涯学習課			A	
			イオル再生事業の推進	生涯学習課			A	
			【再掲】高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業	生涯学習課			A	
	(3) アイヌ文化の保存と継承	イ アイヌ語の伝承やムックリの創作活動等、アイヌ民族の歴史・文化への理解を深めるため、学校と連携し、出前授業を行うなど、学習機会の拡充に努めます	アイヌ音楽文化教育成事業	生涯学習課	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。	
				阿寒アイヌ民族文化保存会活動助成	阿寒生涯学習課			A
				アイヌ関連授業への支援(アイヌの歴史や文化に関する学習プログラム)	教育支援課 生涯学習課			A
				【再掲】イオル再生事業の推進	生涯学習課			A
(3) アイヌ文化の保存と継承	ウ アイヌの伝統的生活空間(イオル)の再生に向けた事業を推進し、アイヌ文化の保存と伝承を図るとともに、理解を深めるための普及啓発に努めます	【再掲】イオル再生事業の推進	生涯学習課	A	A	・年間を通し、的確な事業実施がなされていると評価する。		

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 生涯スポーツの推進と強化	(1) 参加機会の充実	ア スポーツへの参加機会の拡充を図るため、初心者が興味・関心を持てる教室を開催します	ミニテニス無料体験会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—	A	・スポーツへの参加のきっかけをつくりやスポーツ人口の拡大につながる事業であるので、PRを工夫するとともに競技団体とも連携しながら推進し参加拡大を図ってほしい。 ・中止した事業については、感染状況を踏まえ再開してほしい。 ・とても魅力的な取組が多く、今後も内容の充実をお願いしたい。
			夜間ミニテニス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			年長さん体操教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			ミニバスケットボール教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			クライミング体験会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			やってみよう！バドミントン	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			ジュニアソフトテニス教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			パークゴルフ初心者初級実践教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			小学生スケート教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			年長さんスケート教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			年長さんからのアイスホッケー教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			ニュースポーツ無料体験	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			短期水泳教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			冬休みはじめてのスケート体験	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			小学生剣道教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			フィギュアスケートレッスン	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			一笑懸命	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
		イ 体を動かす楽しさや爽快感を実感し、継続してスポーツの継続意欲向上を図ります	社会体育指導員の派遣	スポーツ課	A	B	・幼・少年期は運動神経が発達し、運動能力が急速に向上する時期であるので、多くの子どもに運動機会を提供してほしい。指導の充実、開催日程やPRを工夫しながら受講者の拡大を図ってほしい。 ・小学生や幼児を対象とした事業にB評価が目立つので、事業内容を縮小・統合することも考えてはどうか。 ・とても魅力的な取組が多く、今後も内容の充実と小学生の参加者がさらに増える工夫をお願いしたい。
			ミニテニス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			やさしいエアロ月曜コース	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			小学生体操教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			幼児アスレチック教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			小学生ヒップホップ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			小学生水泳教室	阿寒生涯学習課	—		
			子ども水泳教室	音別生涯学習課	—		
			子どもスポーツ教室	音別生涯学習課	—		
		インファントクラス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B			
		ウ 「釧路湿原マラソン」等、気軽に参加できるイベントの内容充実にも努めます	釧路湿原マラソン	実行委員会(スポーツ課)	—	B	・コロナ禍で、釧路市体育祭等開催できた事業があり良かった。今後は感染対策を工夫しながら開催される事業が増えることを願う。 ・コロナ禍において取組の方法、内容等を工夫して行ってほしい。
			釧路市体育祭の開催	スポーツ課	B		
			湿原の風アリーナ釧路感謝祭	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			サイクルスポーツ大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			サマーキッズスクール	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			新春スポーツ無料開放DAY	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			阿寒ウルトラオリンピック	阿寒生涯学習課	A		
		エ 高齢者や障がい者が安心して参加できるスポーツの機会と場の確保に努めます	介護予防指導	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	・これからの社会においてニーズが高い事業が多い。さらなる充実をお願いしたい。
			高齢者サークル指導	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			ミニテニス体験会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	B		
			シニア軽スポーツ教室	音別生涯学習課	—		
第38回釧路市身体障がい者スポーツ大会	障がい福祉課		—				
第35回釧路湿原全国車いすマラソン大会	障がい福祉課		—				

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 生涯スポーツの推進と強化	(2) 地域スポーツ活動の活性化	あらゆる年齢層が多種目のスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの推進を図り、スポーツによる地域一体感の醸成と非常時にも支え合える地域コミュニティの維持・再生を促進します	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ課	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動の地域移行の動きがあることやスポーツ人口拡大、地域の活性化などから、地域スポーツ組織の地盤固めが必要である。 ・年齢や地区を越えての活動はこれから主流となってくるので、大切にしてほしい。
			広域スポーツセンター機能の充実	スポーツ課	B		
			総合型地域スポーツクラブの育成（阿寒地区）	阿寒生涯学習課	A		
		市民親善フロアカーリング大会や軽スポーツ大会等、地域間や参加者同士の交流を深める場の提供に努めます	市民親善フロアカーリング大会	スポーツ課	—	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染状況を見ながら開催し、それぞれの事業における成果を上げていることを評価したい。 ・細々でも続けていってほしい。参加者同士の交流・親睦を深める点において重要である。 ・とても良い取組である。さらなる充実を図ってほしい。
			地域スポーツ大会の開催	スポーツ課	B		
			市長杯パークゴルフ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A		
			理事長杯争奪ソフトボール大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A		
			釧路市スポーツ協会阿寒支部主催事業	阿寒生涯学習課	A		
			軽スポーツ大会	音別生涯学習課	—		
	ミニバレーボール大会		音別生涯学習課	—			
	親子で参加できる教室や、異世代が交流できる内容のイベントを開催するなど、スポーツへの参加機会の拡充を図ります	親子de一緒にバドミントン	各施設指定管理者（スポーツ課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・親子或いは異世代でスポーツを楽しめる貴重な機会である。さらなるPRを願う。 	
		親子deクライミング	各施設指定管理者（スポーツ課）	A			
		親子スケート教室	音別生涯学習課	—			
		ファミリースポーツ交流会	音別生涯学習課	—			
	(3) 特色あるスポーツ活動の推進	釧路の気候風土を活かした、特色あるスポーツ活動を推進します	市長杯長靴アイスホッケーチャンピオンズ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の変化に対応し継続していってほしい。 ・オリンピック等とも関連させながら、さらにPRできると良い。
			カーリング大会	音別生涯学習課	A		
			子どもカーリング教室	音別生涯学習課	—		
生涯スポーツの活性化を図るため、誰でも気軽に参加できる軽スポーツやニュースポーツの普及に努めます		ニュースポーツの普及・開発	スポーツ課	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも継続審議し、軽スポーツの開発・普及に努めてほしい。 ・最終的なゴールのイメージが湧かない。開発まで行かないまでも進捗状況等見える化するのと良いのではないか。 	

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
2 生涯スポーツの推進と強化	(2) 地域スポーツ活動の活性化	ア あらゆる年齢層が多種目のスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの推進を図り、スポーツによる地域一体感の醸成と非常時にも支え合える地域コミュニティの維持・再生を促進します	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ課	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 運動部活動の地域移行の動きがあることやスポーツ人口拡大、地域の活性化などから、地域スポーツ組織の地盤固めが必要である。 年齢や地区を越えての活動はこれから主流となってくるので、大切にしてほしい。
			広域スポーツセンター機能の充実	スポーツ課	B		
			総合型地域スポーツクラブの育成（阿寒地区）	阿寒生涯学習課	A		
		イ 市民親善フロアカーリング大会や軽スポーツ大会等、地域間や参加者同士の交流を深める場の提供に努めます	市民親善フロアカーリング大会	スポーツ課	—	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナの感染状況を見ながら開催をし、それぞれの事業における成果を上げていることを評価したい。 細々でも続けてほしい。参加者同士の交流・親睦を深める点において重要である。 とても良い取組である。さらなる充実を図ってほしい。
			地域スポーツ大会の開催	スポーツ課	B		
			市長杯パークゴルフ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A		
			理事長杯争奪ソフトボール大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A		
			釧路市スポーツ協会阿寒支部主催事業	阿寒生涯学習課	A		
			軽スポーツ大会	音別生涯学習課	—		
	ミニバレーボール大会		音別生涯学習課	—			
	ウ 親子で参加できる教室や、異世代が交流できる内容のイベントを開催するなど、スポーツへの参加機会の拡充を図ります	親子de一緒にバドミントン	各施設指定管理者（スポーツ課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 親子或いは異世代でスポーツを楽しめる貴重な機会である。さらなるPRを願う。 	
		親子deクライミング	各施設指定管理者（スポーツ課）	A			
		親子スケート教室	音別生涯学習課	—			
		ファミリースポーツ交流会	音別生涯学習課	—			
	(3) 特色あるスポーツ活動の推進	ア 釧路の気候風土を活かした、特色あるスポーツ活動を推進します	市長杯長靴アイスホッケーチャンピオンズ大会	各施設指定管理者（スポーツ課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 気候の変化に対応し継続してほしい。 オリンピック等とも関連させながら、さらにPRできると良い。
カーリング大会			音別生涯学習課	A			
子どもカーリング教室			音別生涯学習課	—			
イ 生涯スポーツの活性化を図るため、誰でも気軽に参加できる軽スポーツやニュースポーツの普及に努めます		ニュースポーツの普及・開発	スポーツ課	B	B	<ul style="list-style-type: none"> これからも継続審議し、軽スポーツの開発・普及に努めてほしい。 最終的なゴールのイメージが湧かない。開発まで行かないまでも進捗状況等見える化すると良いのではないか。 	

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント
3 競技スポーツの振興	(1) 競技力の向上	ア 全道・全国・国際大会等で活躍する選手を育成するため、幼少時から計画的な専門的指導を受けられる環境を整え、競技力の向上を図ります	JFAなでしこひろばin温原の風アリーナ釧路	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A	A	・コロナの感染状況を見ながら開催をし、それぞれの事業における成果を上げていくことを評価したい。 ・個々の選手、指導者のレベルアップにつながるので、拡大し様々な種目にふれさせてほしい。 ・とても良い取組である。今後のさらなる充実に期待する。
			トップスポーツ技術講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			スピードスケートスクール	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			ミニテニス技術講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			いばなカ 北海道小学生バスケボールクリニック	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
		イ 全道・全国・国際大会等で活躍する選手を育成するため、各競技の大会を積極的に開催し、競技力の向上を図ります	全日本少年アイスホッケー大会(中学生・男子の部)	実行委員会 (スポーツ課)	—	A	・子どもたちのモチベーション向上と力試しの場として、できる限り開催してほしい。 ・とても良い取組である。今後のさらなる充実に期待する。
			理事長杯U-10フットサルフェスティバル	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			市長杯少年柔道大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			理事長杯全道ミニテニスフェスティバル	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			理事長杯小学生バレーボール大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			理事長杯U-10ミニバスケットボール大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			釧根小学生陸上競技大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
			理事長杯U-9サッカーフェスティバル	各施設指定管理者 (スポーツ課)	—		
			市長杯少年アイスホッケー大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
	ウ 地元優秀スポーツ選手の顕彰を行い、競技スポーツの意識の向上に努めます	釧路市スポーツ賞	スポーツ課	A	A	・とても良い取組である。今後のさらなる充実に期待する。	
		釧路市長特別表彰	スポーツ課	A			
		釧路市教育長特別表彰	スポーツ課	—			
	(2) スポーツ少年団の育成	ア 地域や学校に働きかけるなど、スポーツ少年団や団員を増やす取組を行います	スポーツ少年団への加入促進	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	B	B	・今後も活性化を図る工夫・努力をしてほしい。 ・スポーツ少年団の現状と今後について、必要なかどうか、続けていけるかどうか等考える必要がある。 ・少子化もさることながら、スポーツをやりたい子どもが減少している。学校との連携が必要である。
			冬の子どもスポーツフェスティバル	阿寒生涯学習課	A		
		イ スポーツ少年団の活性化を図るため、スポーツ少年団員同士の交流を深める様々な事業を展開します	釧路市スポーツ少年団スポーツ交流会	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	A	A	・今後も活性化を図る工夫・努力をしてほしい。 ・今後も内容を充実して取り組んでほしい。
			釧路市・釧路管内スポーツ少年団ジュニアリーダースクール	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	—		
			日独スポーツ少年団同時交流派遣	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	—		
			少年団種目別交流大会	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	B		
			スポーツ少年団団体カテスト会	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)	—		
			【再掲】冬の子どもスポーツフェスティバル	阿寒生涯学習課	A		
			スポーツ少年団宿泊研修交流会	スポーツ少年団 (個別生涯学習課)	A		
			釧路コンパニオンサッカークラス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	A		
ACP・トラホホ® リン体験会		各施設指定管理者 (スポーツ課)	—				
(3) 競技スポーツ活動への支援		ア 全道・全国・国際大会やスポーツ合宿等を積極的に誘致し、地元選手の競技力向上を図ります	各種大会の誘致活動	スポーツ課	B	A	・コロナの影響で中止されたものもあったが、一定の事業が行われ成果があったことを評価したい。コロナ収束後の開催事業が増えることを期待したい。
			合宿誘致活動	スポーツ課	A		
	イ 全道・全国・国際大会に出場する小中高校生選手に対し派遣助成を行うなどの支援を行います	全道・全国大会等派遣助成	スポーツ課	A	A	・派遣・開催助成は出場者・関係団体の大きな支えとなるので、参加しやすい、開催しやすい助成をお願いしたい。 ・各種競技の普及・向上のため、不公平の生じることのないよう継続してほしい。 ・選手が実力を発揮できる一助になるようなると良い。	
		ウ 地元で開催する全道・全国・国際大会等への開催助成を行います	全道・全国大会等開催助成	スポーツ課			B
イ 各種競技団体が主催する研修会・講習会等の開催への支援を行います	競技団体スポーツ講習会開催助成	スポーツ課	A	A			

基本方針Ⅳ 健全な心と身体を育む活動の推進と強化

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	行政評価	委員評価	社会教育委員コメント		
4 スポーツ振興のための基盤整備	(1) スポーツ施設の充実	既存スポーツ施設の長寿名化及び有効活用を計画的に推進し、安心・安全で快適な施設の充実に努めます	柳町アイスホッケー場の整備	スポーツ課	A	A	・施設整備が計画的に行われており、有効に活用されている。老朽化施設の早期改修も含めて継続してほしい。 ・今後も施設を有効活用できるよう維持管理に努めてほしい。		
			スポーツ施設における煙突用断熱材（アスベスト）調査	スポーツ課	A				
			柳町スピードスケート場の整備	スポーツ課	A				
			鳥取温水プールの整備	スポーツ課	A				
			湿原の風アリーナ釧路の整備	スポーツ課	A				
			阿寒町総合運動施設の整備	阿寒生涯学習課	A				
			釧路市民テニスコートの整備	スポーツ課	A				
			パークゴルフ場の整備	スポーツ課	A				
			釧路アイスアリーナの整備	スポーツ課	A				
			釧路市民陸上競技場の整備	スポーツ課	A				
			釧路市民ソフトボール場の整備	スポーツ課	A				
			音別町運動施設の整備	音別生涯学習課	B				
	イ	地域におけるスポーツ活動の拠点として、小中学校の体育館・グラウンドの有効活用を図ります	学校体育施設の開放	スポーツ課	A	A	・学校開放は地域スポーツ活動の拠点として貢献している。活動しやすい条件整備を継続してほしい。		
			学校体育施設の開放（阿寒地区）	阿寒生涯学習課	—				
			スポーツ施設におけるAEDの整備	スポーツ課	A				
			（スポーツ施設指導員対象）救命救急法講習会の実施	スポーツ課	A				
	ウ	競技者の安全を確保するため、スポーツ活動時における不測の事態に備え、施設における救急体制の整備に努めます	スポーツ施設におけるAEDの整備	阿寒生涯学習課	A	A	・安全安心にスポーツ活動ができる施設となるよう、今後も施設整備や体制強化をお願いしたい。 ・継続してほしい。 ・AEDの維持管理をしっかりと行ってほしい。		
			AED・CPR等の講習会の開催	音別生涯学習課	A				
			地域スポーツリーダーの養成	スポーツ課	A				
			地域スポーツリーダー研修会	スポーツ課	B				
(2) 指導者の養成とボランティアの確保	ア	地域での身近なスポーツ活動の推進や学校での部活動を支援するための指導者の養成を図ります	釧路市地域スポーツリーダー協議会	スポーツ課	B	B	・地域スポーツを振興していく上で、拠点となる場・施設・推進する優れたスポーツリーダーや指導者の確保が急務である。今後とも講習会・研修会を充実させてほしい。 ・指導者の育成は急務である。組織的にしっかり取り組んでいく必要がある。		
			スポーツ指導員「リーダーバンク」の養成と確保・活用	スポーツ課	B				
			スポーツ推進委員協議会	スポーツ課	A				
			スポーツ少年団指導者協議会運営委員会	釧路市スポーツ協会（スポーツ課）	A				
	イ	適正なスポーツ倫理を身につけた専門的指導者の養成を図るため、関係団体と連携し、各種研修会や講演会等の開催を促進します	スポーツ少年団・母集団交流研修会	釧路市スポーツ協会（スポーツ課）	—	A	・総合型スポーツクラブのあり方を研究・検討し、組織化を図っていくことが必要である。		
			スポーツ少年団母集団・指導者研修会	釧路市スポーツ協会（スポーツ課）	—				
			スポーツリーダー養成講習会・スポーツ少年団認定員養成講習会	釧路市スポーツ協会（スポーツ課）	A				
			市民ボランティアの参画によるスポーツ大会を開催するため、関係団体との連携を強化します	市民協働型事業	スポーツ課			—	—
	ア	各種施設の利用状況や講座・イベントの開催等、ホームページや「広報くしろ」等で最新の情報をわかりやすく提供します	「広報くしろ」による講座・イベント等の情報提供	スポーツ課	A	A	・多様な方法での情報発信、発信内容の工夫によって、多くの市民が情報をキャッチすることができ、運動やスポーツへの興味・健康志向の高まりにより、スポーツする機会が増えることを期待する。 ・以前に比べ非常に改善されたように思う。		
			「市P連だより」による講座・イベント等の情報提供	スポーツ課	A				
ホームページによる施設等の情報公開①			スポーツ課	A					
ホームページによる施設等の情報公開②			各施設指定管理者（スポーツ課）	A					
ホームページによる施設等の情報公開③			各施設指定管理者（スポーツ課）	A					
スポーツ振興財団機関誌「YELL」の発行			各施設指定管理者（スポーツ課）	A					
イ	年齢や体力に応じた、スポーツ医・科学に基づくトレーニング方法等の情報をわかりやすく発信します	湿原の風アリーナ釧路トレーニング室マンツーマン指導	各施設指定管理者（スポーツ課）	B	A	・発信の方法をさらに工夫すると良い。			
		アンチドーピングに関する知識を提供します	※適宜情報誌等で情報提供する				—		
(3) スポーツに関する情報提供の充実									